

ビールが秘めた可能性に迫る

～ホップ由来の苦味成分がアルツハイマー型認知症の予防・治療に有効か～



ビールと認知症の意外な関係？

ビールの苦味成分「イソフムロン」は、認知症の原因物質（アミロイドβ）を除去し、神経細胞を保護する可能性を有しており、近年注目を集めています。

研究のエピソードや、ビールが秘める可能性について、農学博士の戸部廣康氏にお話をうかがいます。

日時 **11月13日(日)** 午後2時 ~ 午後4時

講師 **農学博士 戸部 廣康 氏**

(独立行政法人) 国立高専機構・高知高専 名誉教授

(一般社団法人) 日本経営士会・南関東支部 経営士



定員 **先着30名** 参加費 **無料**

会場 **港北図書館 2階会議室 A**

お申し込み **10月27日(木) 午前9時30分～**

港北図書館カウンターまたは電話で受付 電話:045-421-1211

この事業は、港北区の「地域のチカラ応援事業」の助成金を受けています。

問合わせ: 横浜市港北図書館 ・JR・東急菊名駅より徒歩7分

横浜市港北区菊名 6-18-10 ・市営バス停「菊名地区センター前」

TEL 045-421-1211 下車1分(41・59系統)

FAX 045-431-5212

主催: 港北図書館友の会 協力: 横浜市港北図書館

